

関東

関東の景況は、住宅建築がやや弱含んだものの、個人消費、設備投資、輸出が持ち直すなど、回復。

個人消費は、スーパー販売が減少したものの、身の回り品や食料品を中心に百貨店販売が底堅く推移し、軽乗用車販売も増加するなど、持ち直し。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、やや弱含み。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、独立行政法人等、都県、市町村が増加するなど、足許増加。輸出は、有機化合物、合成ゴムが減少したものの、石油製品、半導体、ICが増加するなど、持ち直し。

生産活動は、食料品、繊維、化学が減少したものの、鉄鋼、電子部品・デバイス、電気機械が増加するなど、緩やかな持ち直し。観光は、宿泊客が伸び悩むなど、盛り上がりを欠く。雇用は、現金給与総額が増加したほか、建設業や製造業を中心に新規求人数が増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								